

教育目標		心身ともにたくましくすこやかに生きる子を育む						
重点目標		たくましく健やかに生きる子の育成・確かな学力の育成・子ども理解に基づく教育の推進・家庭や地域から信頼される有岡ならではの教育の創造						
項目	重点項目	具体的施策	達成目標	自己評価	成果と課題	改善策	学校関係者評価	
基礎・基本の徹底と授業改善	基礎・基本の徹底と授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語の読解プリントを朝のチャレンジタイムに週3回実施する。</li> <li>校内研修として学年別に生活科・理科を中心に授業を公開する。講師の先生に指導助言を受け、研究を深める。</li> <li>校内ミニ研修を実施し、授業力の向上に役立てる。</li> <li>5.6年の算数で新学習システムを実施する。</li> <li>算数では、授業の初めに各学年音読計算を取り入れ、計算力の向上に役立てる。</li> <li>中・高学年を中心に1週間程度夏休みに学習会(サマースクール)を行う。</li> <li>PTAの学力委員会と連携し、放課後、児童の学びの場や土曜学習を推進する。</li> <li>学力向上プランを作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度末の読解力テストの正答率が80%以上になるようにする。</li> <li>年間を通じて、事前研究会、事後研究会をそれぞれ6回実施する。</li> <li>授業研究会とは別に、年間3回校内ミニ研修会を実施する。</li> <li>算数の少人数指導を実施し、算数の学力を向上させる。</li> <li>児童生徒アンケートにおいて、「授業はわかりやすい(楽しい)と回答した割合が90%以上になる。</li> <li>児童生徒アンケートにおいて、「先生は教え方にいろいろ工夫している」と回答した割合が90%以上になる。</li> <li>水曜広場を月1回以上開催する。土曜学習を月に1回以上開催する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果として、年度末の読解力テストの正答率が平均80%以上に達した。</li> <li>年間を通じて、事前研究会、事後研究会が同じなので確保しにくい。</li> <li>年間を通じて、事前研究会を3回、事後研究会を6回実施し、職員全体で研究を深めていった。授業力の向上と授業改善に成果が見られた。</li> <li>授業研究会とは、別に自主研修会を実施した。</li> <li>各種研修会について職員の73%が授業に生かしていると評価した。</li> <li>算数の少人数指導を実施し、きめこまかな指導ができた結果、算数の学力を向上させた。</li> <li>児童アンケート結果から「授業はわかりやすい」と回答した割合が88%で、目標を達成できなかった。「先生は、教え方にいろいろ工夫している」と回答した割合も、94%で、目標を達成している。</li> <li>保護者も先生はわかりやすい授業に務めていると99%が評価している。</li> <li>算数の音読計算の実施にはばらつきがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容を限定せずに、弾力的に運用できる時間とすることが望ましい。引き続き、週3回朝のチャレンジタイムに高める。短い時間で確実に行うことができるような教材を工夫する。</li> <li>自主研修会については、時間の確保が難しく、学校全体の研究と絡めて授業力が向上するような方法を探っていくことが必要。若手教師の増加に伴い、授業力の向上を目指していく。</li> <li>算数の少人数指導では、引き続き具体物を使って、理解を深め、問題の練習量を増やして、学習理解の定着や抽象的な思考力の向上を図る。</li> <li>本校の研究全般にわたって、学校全体で協力しあう姿勢を維持し、研究意識を高める。</li> <li>水曜広場や土曜学習を確保し、内容の充実を図る。</li> <li>学力向上プランの具体化し、子どもの実態に沿って学力向上を図る。</li> <li>算数の音読計算を引き続き実施していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの切り替え早く授業前に着席して授業に取り組む準備ができています。</li> <li>授業しうであり、授業前に着席し、すぐに授業に入れています。</li> <li>自分たちで学んで体験したことをまとめて発表する時間が多い。プレゼン能力が育つ。</li> <li>めあてが明示されていなかったり、目的を理解しないまま授業が進んでいるように思える授業も多かった。</li> <li>英語のオールイングリッシュの授業は良い。また一人一人が話す時間が取れていてコミュニケーション学習ができています。算数の少人数指導は良い、わかりやすい授業だった。</li> <li>注意するとき、授業に入るとき、先生方が表情や言葉でメリハリをつけていた。子どもたちに伝わっていると思う。なぜダメなのかどうしたらよくなったのかなど注意したのかなど1つずつ問題を解決していきながら進んでいく授業が良いと思う。</li> <li>授業の準備が整っていると思う。落ち着きのあるクラス、取らなれているクラスは落ち着きよく進んでいる。</li> <li>電球が壊れているクラスもある。雑巾のしまし方を写真で明示しているクラスがあり、きれいに整理整頓されていた。</li> <li>土曜学習、水曜広場の準備を固めてくべきではないか。また、放課後の児童の学びについて先生方は関係していないのではないか。</li> <li>英語と理科の専科の先生が常在している。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>思考力・判断力・表現力を育てる授業を展開する。</li> <li>読書活動を充実させ、読書力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みや冬休み等も図書室を開放したり、各学年・クラスの常備図書を増やしたりする等、図書環境を充実させる。</li> <li>理科で学ぶ問題解決的な学習を他教科にも広げていく。(自分の考えを持つための問題解決学習のあり方)</li> <li>各教科で読書力を高めるために、記述・説明する活動を充実させる。</li> <li>ノートや学習カードの活用。</li> <li>学力向上プランの作成。</li> <li>教育のユニバーサルデザイン化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書カードに読書した書名を記入させ、読書を推進する。</li> <li>1ヶ月の読書目標数を1冊を達成する。</li> <li>実験前に予想・仮説を立てさせ、観察・実験の結果を整理し、考察する活動に大切にする。(ノートや学習カードの活用)</li> <li>各教科で言語活動を学習活動に取り入れる。</li> <li>理科では自分の考えを持つために、問題解決学習を重視して取り組んできた結果、進んで課題解決の方法を自分で考えたり、意図的に学んだりする姿が見られるようになってきた。</li> <li>観察・記録・整理・考察・説明、意思決定等の言語活動を各教科に取り入れていくことができた。</li> <li>授業においてユニバーサルデザイン化を進めた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果として、1ヶ月の読書目標数11冊は達成できた。中学年から読み応えのある本を読んでいる児童が多いため、冊数はあまり増えてはいないが、学校で読書することが習慣になっていたり、図書館のイベントを楽しんだりする児童が増えている。</li> <li>教科での活動を、多様な方法で表現させることで、気づきの質を高めて表現力が育つよう取り組んだ。</li> <li>理科では自分の考えを持つために、問題解決学習を重視して取り組んできた結果、進んで課題解決の方法を自分で考えたり、意図的に学んだりする姿が見られるようになってきた。</li> <li>観察・記録・整理・考察・説明、意思決定等の言語活動を各教科に取り入れていくことができた。</li> <li>授業においてユニバーサルデザイン化を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き図書館の利用を促すようなイベントや図書紹介をしていく。</li> <li>朝学習に読書タイムを取り入れる。</li> <li>主体的で対話的で深い学びに向けて、各教科の学習内容で、具体的な指導計画をしっかりと立てて授業に臨む。</li> <li>学習時間の中で思考したり、表現したりする時間を十分確保する。</li> <li>授業の初めに目標を明確化し、それに合わせた振り返りを行うよう心がける。</li> <li>学習マップを作成し、見直しをもって思考ができるようにする。</li> <li>学力向上プランをより具体化していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒板面がすっきりしていて黒板に集中できる。チョークの色分けなど工夫もされている。算数専科の先生の板書がわかりやすかった。</li> <li>主体的で対話的で深い学びに向けて、各教科の学習内容で、具体的な指導計画をしっかりと立てて授業に臨む。</li> <li>学習時間の中で思考したり、表現したりする時間を十分確保する。</li> <li>授業の初めに目標を明確化し、それに合わせた振り返りを行うよう心がける。</li> <li>学習マップを作成し、見直しをもって思考ができるようにする。</li> <li>学力向上プランをより具体化していく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の展開を工夫し、学習意欲を向上させる。</li> <li>家庭学習を充実させ、学習意欲を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話型の授業の実践(ペア・グループ・全体)を行う。</li> <li>各教科で電子黒板や実物投影機等を活用して学習意欲を向上させ、学習内容の習熟度を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年30分、中学年60分、高学年90分の家庭学習の目標時間を達成する。</li> <li>ICTを月600回以上活用する。</li> <li>予習復習の習慣をつける。</li> <li>保護者と連携し、家庭で、繰り返し反復させたことで、教科の基礎的な内容の理解が定着し、できる・わかるが次なる意欲につながっている。</li> <li>家庭での学習時間は、子どもにより個人差が大きく、改善が必要であるが、自主学習をする児童は増加傾向である。</li> <li>家庭での読書時間を確保する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果として、ICTを月平均700回以上活用できた。</li> <li>アクティブラーニングを授業に取り入れることにより、子ども一人一人が実感を持って理解を深め、学習意欲につながっていた。</li> <li>保護者と連携し、家庭で、繰り返し反復させたことで、教科の基礎的な内容の理解が定着し、できる・わかるが次なる意欲につながっている。</li> <li>家庭での学習時間は、子どもにより個人差が大きく、改善が必要であるが、自主学習をする児童は増加傾向である。</li> <li>家庭での読書時間を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中で効果的なICTの活用方法を、職員間で研修することで、活用へのさらなる意識を高める。さらに、多くの職員が活用できるようにするための研修を行う。</li> <li>自主学習ノートを取り入れ、学校や家庭での自主的な学習時間の確保を図る。</li> <li>児童の家庭学習や読書に対し、その都度評価し意欲の持続化につなげる。</li> <li>タブレット等機器の活用を行う。</li> <li>さらにアクティブラーニングに取り組んでいく。</li> <li>家庭学習プリント配信システムの活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習意欲が向上しているように思える。子どもたちが考える時間を取り、考えを書きとめる時間を確保し、家庭でも取り組む環境に導くことで、自主的な学習意欲が向上しているように思う。</li> <li>1人ずつの課題をクラスで共有して学びにつなげている。</li> <li>クラス目標は低学年には書かれていないように思う。</li> <li>中学年以上は熱心に先生の指導に集中している様子が出ている。</li> <li>ICT活用しているクラスが少ないように思える。各先生の力量による部分が多い。</li> <li>タブレット活用はほぼ全員が活用している。</li> <li>コンピュータ室の配置方法、もっと良いものがないか。</li> <li>電子黒板の活用はすべての児童にどの部分の話をしているのかわかりやすく発信出来ていると思う。</li> <li>机の引き出しになるお道具ボックスがないので、整理されていない子が多い。導入してはどうか。</li> <li>宿題の量が少なく、親が言わなければ家庭学習の目標時間は達成できない、自主学習でもよいので本人が読んで勉強するような指導を増やすべきでは。</li> <li>自分の意見感想を記入するような宿題が少ないように思う。</li> </ul>
豊かな心・健やかな体	いじめ、不登校への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。</li> <li>不登校児童数を減少させる。</li> <li>命を大切に児童を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめアンケートを実施し、実態に応じた対応をす。</li> <li>欠席がちな児童には、家庭訪問を行うとともに、保健室登校等児童の負担にならないような登校を選択している。</li> <li>毎月生徒指導研修会(いじめ等)を持つ。</li> <li>全ての教育で命の教育を推進する。</li> <li>毎月の職員会で各クラスの子どものための報告を行い、共通理解を図る。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒アンケートにおいて、「自分を大切にすることや、他人への思いやりについて」を回答した割合が90%となり、目標を達成した。</li> <li>欠席が30日を超える児童は6人だった。</li> <li>問題行動報告会は、月1回スクールカウンセラーを交えて、職員会議前に話し、共通理解した。</li> <li>保護者がより学校への相談がしやすくなるような体制作りに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有岡小学校いじめ防止等のための基本方針に基づいて、組織として取り組んでいく。</li> <li>引き続き、欠席がちな児童には、家庭訪問や電話連絡等で保護者対応を密にしたり、職員間で情報共有を強化したりして、複数の職員で対応していく学校ぐるみの組織的な協力体制をさらに構築する。また、関係機関と連携を行う。</li> <li>保護者がより学校への相談がしやすくなるような体制作りに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶が自然にできていて印象が良い。</li> <li>挨拶も返ってこない、できていない子もいる。</li> <li>雑巾は綺麗に整理されているクラスが多い。</li> <li>下駄箱の掃除がきれい、整理されている。</li> <li>トイレのスリッパが濡れている。</li> <li>子どもたちがたがいが同じ合している。</li> <li>いじめについて子ども同士で考えているのか。</li> <li>実際にワークを行ってみてはどうか。</li> <li>廊下、教室中の掃除が行き届いていないクラスが少しある。</li> <li>アンケートがより学校と実態が把握しにくいのではないか。</li> <li>スマホ普及によって学年のグループラインができていくのでいじめが増えている。3,4年生から指導が必要。</li> <li>タンポポの子をみんなで行ってらっしゃいに返り出してあげよう授業を受けない児童がいてクラスの一員という位置づけができていない。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>冬場の縄跳び運動や外遊びを奨励したりする。</li> <li>冒険教育やボール投げ、サーキットトレーニング、持久走を可能な範囲で体育の時間に取り入れる。</li> <li>スポーツの楽しさを体感させる。</li> <li>放課後運動場を開放し、体力向上をめざす。</li> <li>スポーツ21等地域の体育的行事に参加するよう呼びかける。</li> <li>体力アッププランを作成する。</li> <li>各クラスにドッジボールやスポンジボールを配布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冒険教育を月200回目標を達成する。</li> <li>年間を通じて、児童主催の委員会を中心に全校ドッジボール大会等を入れる。</li> <li>体育の時間にサーキットトレーニングを取り入れる。</li> <li>体力アッププランの実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>冒険教育を体育の準備運動や体育のカリキュラムに組み入れてはいるものの、月平均200回は達成できなかった。老朽化もあって、危険を伴ったりという問題点もある。</li> <li>児童主催の委員会を中心に、ドッジボール大会、フリスロー大会、PK大会を行ったりして、スポーツの楽しさや体力の向上につながった。</li> <li>業間休みや昼休みなど、各クラスに配布されたボールを使った遊び道具を使った遊びを行った。</li> <li>体育のがんばりカードを活用し、休み時間にも運動する児童がみられた。</li> <li>運動場開放を第1、3、5土曜日に実施した。</li> <li>体育の時間に持久走を取り入れることが増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冒険教育やサーキットトレーニング、持久走等のさらなるプログラム開発することで、児童にとって楽しく、魅力あるものにし、目標を持って自ら進んで体力を向上させようとする児童を育てていく。</li> <li>児童主催の委員会活動で、楽しんで体を動かす活動を組み込んでいく。</li> <li>体力向上プランを考えるなど、学校全体で取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一輪車を中庭で体を使った遊び進んでできている。</li> <li>縄跳びを中庭にもっとおいてほしい。</li> <li>ドッジボールをして楽しそう。</li> <li>業間に児童数に対して運動場で遊ぶ子が少ない気がする。</li> <li>校庭が狭い道具など常時使用できるように工夫がみられる。</li> <li>縄跳びなど目標をもつて向上に取り組む仕掛けを作り、子どもたちが体を動かすきっかけを作っている。</li> <li>体育指導専任の配置</li> <li>運動の機会、場所の確保が必要</li> <li>放課後も使えるスペースが少ない</li> <li>冒険教育されていない</li> <li>改善できているが不足している</li> <li>エアコンが入っている教室でも上着を着ている児童がいることが気になった。</li> <li>スポーツ21は特定の子しか参加していない、もっと一般の子にも広めたい</li> <li>中庭も活用してほしいと思う</li> </ul>	
開かれ信頼される学校	学校情報の積極的な発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校便り、ホームページ等学校情報発信する。</li> <li>授業公開や参観日、オープンスクール等を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりを月1回以上発行し、学校情報を保護者に発信する。</li> <li>学校ホームページを月1回以上更新し、学校情報を発信する。</li> <li>学校評価を学校改善に活かす。</li> <li>有岡小学校区まちづくり協議会、すこやかネットに参加する。</li> <li>あいさつ、言葉づかい、服装、時間を守ることなどのマナーや生活のきまりを、地域や保護者とともに取り組む。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校便りを発行したが、不定期となった。</li> <li>ホームページを128回更新した。</li> <li>保護者アンケートにおいて、「学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている」と回答した割合が90%以上になる。</li> <li>保護者アンケートにおいて、「学校は保護者の願いに添っている」と回答した割合が90%以上となる。</li> <li>PTAと連携し、水曜広場や土曜学習を月1回以上開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校便りを発行したが、不定期となった。</li> <li>ホームページを128回更新した。</li> <li>保護者アンケートにおいて、「学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている」と回答した割合が100%になり、目標を上回った。</li> <li>保護者アンケートにおいて、「学校は保護者の願いに添っている」と回答した割合が100%になり、目標を上回った。</li> <li>PTAとの連携は、放課後学習を水曜日に月1回行った。土曜学習も月1回行った。</li> <li>地域や保護者等の各機関の協力を得て、様々な生活のきまり等に対し、組織的な指導ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校便りに詳しく月の行事を載せていく。</li> <li>自校のホームページを定期的に更新するために、児童の活動の様子をその都度記録し、保存しておく。</li> <li>教職員や地域の人等が共通認識のもとに一貫した指導を行うことができるように協議検討していく。</li> <li>学校だよりの発行回数を増やし、より詳しく保護者に発信していく。</li> <li>学校評価を学校評議員会議で再確認し、実践していく。</li> <li>今後もPTAと連携し水曜広場や土曜学習をさらに進めていく。</li> <li>地域の人材のより積極的な活用を図る。</li> <li>スポーツ21への参加を呼びかける。</li> <li>指導計画をホームページに載せてより詳しく学校の様子を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPはこまめに更新されている。</li> <li>クラスだよりのあるクラスとないクラスで差があるのではないか</li> <li>学校だより学年だよりで様子が発信されている。</li> <li>学校だより未発行</li> <li>カウンセラーだよりはとても参考になる</li> <li>オープンスクール開催で学校の様子を見ることができている</li> <li>広報は毎年ブロードアップしているが、こまめにする必要があるのか</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>校種間の連携を深め情報交換等を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼・小の給食交流、行事交流、遊び交流</li> <li>幼・小連携委員会、PTA学力向上委員会との連携</li> <li>ありおか幼稚園には、学期に1回以上出前授業を行う。</li> <li>中学校の出前授業を年1回行う。</li> <li>幼小各校園の研究会に参加する。</li> <li>幼小連携から接続へ</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年児童を中心に幼稚園児や保育園児と交流したり、教員が幼稚園に1回以上出前授業をしたりと、連携を深めることができた。</li> <li>中学校の出前授業を年1回行った。</li> <li>幼小各校園の研究会に参加する。</li> <li>幼小連携から接続へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼小中の話し合い時間を確保し、お互いの研究の中にも位置づけていく。</li> <li>中学校は、北と南に分かれており連携が難しい面があるが、児童が小学校生活から中学校生活へスムーズに移行できるようにそれぞれ連絡を密にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校は温かく見守られている環境に対し、中学では厳しさが前面に出てくる環境の様々に子どもたちが不安を感じている。</li> <li>スムーズな連携が必要</li> <li>高学年に向けて自立に向けた取り組みを求める</li> <li>幼小の連携取り組み進んでいる</li> <li>有岡幼稚園だけでなく範囲を広げてはどうか</li> <li>北中のボランティアをもっと募ってほしい。関わり合いの子はいないのでは</li> </ul>	

学校関係者評価総括  
 子どもたちが全体的に落ち着いて学習に取り組んでいる  
 同じ学年でもクラスによって差が出てくると感じます学年単位の連携が必要なのでは、担当高専授業など子供も良い刺激になると感じます  
 先生の力量はあるにしろ、どの先生も熱心に取り組んでおられる。下駄箱、トイレのスリッパ、雑巾のかけ方など声を掛け合ったりすれば改善できるかも  
 総合学習もクラスで差があるように感じるのでどの先生が何に重点を置いているのか見えるようになってきたら良いと思う  
 学校の雰囲気は良い  
 基本的な生活態度を身に付けてもらえると嬉しい。学力よりも自分への有用感をもって地域に愛される学校であってほしい

次年度に向けた重点的な改善点  
 PCメンテナンスや家庭科・理科・英語などの授業サポートなど現状の先生方の手の足りないところをPTAや地域の人材を活用し支援できればよい  
 担当の先生も他教科の様子を見てもらえば自分との違いがわかるのでは。特に高学年でもクラスでの違いは後々ひびくのではないのでしょうか  
 英語学習・PC学習など先生の負担が多いように思う、差も出ているように思う  
 学習的な負担が減らないのであれば少人数学級にするなど対策が必要と思う  
 中庭をもっと活用したいと思う。図書の中庭で本が読めるようになるなど